## 2008.12.20 (SAT) - 2009.2.15 (SUN)

秋元珠江・小阪淳二人展 エントロピー/entropy ~混沌と秩序 / Chaos and Order~

会期 2008.12.20 (土) -2009.2.15 (日)

会場 東京画廊+BTAP | 北京

郵編 100015 北京市朝陽区酒仙橋 4号 8503 信箱

TEL: +86-10-8457-3245 / FAX: +86-10-8457-3246

開廊時間 10:30-17:30

閉廊日

オープニング・レセプション

2008.12.20 (土) | 15:00-17:00

東京画廊+BTAPにて

イベント [講演会] 2008.12.20 (土) | 15:00-16:00

秋元珠江:「中国滞在とこれからの世界に向けた美術制作(仮)」

小阪 淳:「アートとテクノロジー」

Tamae Akimoto | 熵/entropy | 2008 | Mixed media | 90 x 90cm

TOKYO GALLERY + BEIJING TOKYO ART PROJECTS

このたび東京画廊+BTAP では秋元珠江と小阪淳による二人展『エントロピー/entropy』を開催いたします。本展覧会では、観客参加型のメディアアート作品を中心に、写真作品 41 点を展示します。

秋元珠江は 1971 年埼玉県生まれ。多摩美術大学彫刻科諸材料専攻を卒業後、「変化」を一貫したテーマとして科学技術を取り入れた作品を数多く制作してきました。ビデオ・機械装置・化学反応などの手法を用いる秋元の作品は、展示期間中、時間の経過とともに変化します。2003 年に第6回岡本太郎記念芸術大賞特別賞を受賞、2006 年にはポーラ美術振興財団在外研修員として1年間中国に滞在し作品を制作・発表するなど、近年積極的な制作活動を展開しています。

小阪淳は 1966 年大阪府生まれ。1992 年に東京藝術大学院美術学部建築科修了後、グラフィックデザイン、空間デザイン、ウェブデザインなど幅広い分野で活動を続けてきました。コンピューターを自らプログラミングして作品を制作するなど、科学へのアプローチを通じての芸術表現を追求しています。2007 年にカンヌ国際広告祭で Cyber Lions 銅賞を受賞。未知のものをビジュアル化する能力を高く評価されている作家です。

本展覧会では、科学と美術の境界線で活躍する両作家の過去の作品に加え、本展に向けて制作された新作や 2 人のコラボレーション作品「エントロピー」を展示いたします。「エントロピー」は生物が生きてゆく中での根源的な仕組み「生物エントロピー」を表現する、観客参加型の作品です。秋元が時間の経過とともに化学変化で色の変わるゼリーをつくり、小阪のプログラミングによりその様子をリアルタイムに取り込み、プロジェクターで投影された世界に変化を起こします。

現代のテクノロジーと密接に結びついた、日本の最新美術の世界を、是非この機会にご高覧ください。 また 12 月 20 日のオープニングでは、両作家による講演会を開催しますので、ご来廊を心よりお待ち しております。



Jun Kosaka | 国家と宇宙について/Nations and the Universe(部分) | 2008 | インクジェットプリント | 100 x 150 cm (2枚組)

「協賛]



[協力]

